

## 平成 25 年度 第 1 回向日市防災会議の議事要旨

1 開催日時 平成 25 年 8 月 23 日（金）午前 10 時～11 時

2 場所 向日市役所 大会議室

3 出席者

【防災会議委員】（全員出席、建設環境常任委員長は未定）

久嶋会長、栗山委員、三沢委員、大石委員、中村委員（代理・山本）、兒玉委員、奥野委員、岡田委員、清原委員、橋本委員（代理・柳本）、石田委員、吉田誠委員（代理・中澤）、吉田徳委員、田村委員、中尾委員（代理・植田）、嶋田委員、河合委員、長谷川委員、高木委員、六人部委員、磯野委員、木ノ山委員、北村委員

【防災会議幹事】

五十棲市長公室長、物部総務部長、酒井市民生活部長、植田健康福祉部長、大野建設産業部長、田村上下水道部長、栗山教育部長、清水市民生活部次長、高田上下水道部次長

【事務局】

今西次長、浅田主幹、小畑課長補佐、宮崎係長、長田主任、木村再任用職員

4 会議の概要

(1) 会長あいさつ

(2) 委員紹介

(3) 報告事項

①向日市防災会議条例及び向日市災害対策本部条例の改正について

・・・・資料 1

②平成 24 年度防災関連事業報告について

・・・・資料 2

③平成 25 年度防災関連事業計画（案）について

・・・・資料 3

(4) 協議事項

向日市防災訓練（案）について

・・・・資料 4

⇒承認

5 その他

## 次回防災会議の開催について

### 《質疑応答等要旨》

#### (3) 報告事項

①向日市防災会議条例及び向日市災害対策本部条例の改正について

②平成24年度防災関連事業報告について

③平成25年度防災関連事業計画（案）について

#### (4) 協議事項

向日市防災訓練（案）について

#### (5) その他

委員 オストメイトの装具とはどういったものか。

事務局 人工肛門をされている方は個人個人で別々の装具を利用している。協会、個人宅、市にそれぞれの装具を備蓄し、何重もの対策をし、どこで被災しても装具が手に入るようにしている。装具は人工肛門に袋状のものを装着し、交換するものです。

委員 災害時要配慮者の名簿利用について、どのように利用するか

事務局 今現在、民生児童委員と各区にお渡しして共有している。災害時には安否確認に利用する。

委員 民間の気象サービスを利用するということが、どのように利用するのか。

事務局 これまでのシステムに加え、36時間先の気象状況まで予測できる民間のシステムを、事務局の情報収集体制の確立に役立てることで活用する。

委員 災害時要配慮者、残りの方は個人情報関係で登録されていないか。

事務局　ダイレクトメールや民生児童委員による訪問により対処しているが、名簿への記載の同意が得られなかった方もいる。

委員　保健所では難病患者の個別の災害時の対応を行っているところ

#### ○事務局

福知山の花火大会での事故について（問題提起）

- 1 露天商についての指導、啓発をどのようにしていくか
- 2 緊急搬送体制について
- 3 医療機関の連携について（受け入れの限界、重傷火傷の対応ができる病院が限られる）

今回の事故を教訓に注意喚起し、向日市でこういうことがないように各関係機関で協力してやっていきたい。

#### ○消防

明石の歩道橋事故以来、役場にバス待機。警察の先導で搬送しているようだ。昨年度、総務省消防庁から無償貸与していただいたバスを所轄署に待機させる。基本的に緊急搬送は消防の仕事。構成2市1町にお願いしてバスをお借りするということもある。

知事と京都府消防長会長の連名で総務省に再発防止に対する要望書の提出をする。

火災予防上の規制を加える必要がある、二度とこのようなことが起こらないよう願う。

#### ●ドクターヘリについて

医療機器を装備したヘリコプター

平成24年10月から京丹波町以南の10市8町1村対象の南部地域の独ヘリも運用開始、吹田市の大阪大学附属病院へ。運用主体は関西広域連合。宇治特洲会病院はヘリポートなし。

乙訓地域は23か所が指定、向日市は6小学校と西ノ岡中学校、看板の設置と行政広報での周知については市民生活部と教育部にお世話になっている。

南部地域の運用件数は北部に比べて少ないが、これは地理的な条件や病院の数が恵まれていることが理由。

へり誘導の対策はグラウンド散水をする。砂埃や騒音で迷惑かけるが周辺の方にはご理解をいただきたい。

○土木事務所

第1次緊急輸送道路として指定されている府道西京高槻線（物集女街道）の拡幅については、防災上の意味もあって進めているところです。

流域下水道事務所が今年からいろは呑龍トンネルの南幹線の着工に係った。竣工までは時間がかかるが、安全度は間違いなく高まる。

住民の自主避難にはがけ崩れ、土砂災害の危険個所を知っていただくことが大事である。基礎調査し、土砂災害の警戒区域の指定について知っていただけるよう進めたい。指定については難しいこともあるが、相談しながらやっていきたい。

委員 災害時帰宅困難者について取組みはいかがか。

事務局 帰宅困難者は京都市と向日市が指定しており、桂川駅が指定されている。イオンの開発などが約2年後に済めばある程度見えてくると思っている。

委員 電力使用量が97パーセントに達したと聞いたが

事務局 高温や舞鶴火力発電所と堺の火力発電所のトラブルなど複合的な要因で引き起こされたもの。